



「実証」「虚証」とは？



中国医学の診断と治療には西洋医学と大きく異なる点があります。西洋医学の場合、さまざまな検査をして、そこから得られたデータを基に、体のどこが悪いのかをつきとめ、悪い部分を治すための治療を行います。

これに対して中国医学は、病気は体全体の調和が崩れたために起こると考えます。中医鍼灸では、病気になった部分だけでなく、その人の体と、心の状態も総合的に診て鍼灸治療を行い、本来の健康な状態に回復させていきます。

そのため重要視されるのがその人の「体質」であり、自覚症状や環境なども考慮します。中国医学ではこうしたさまざまな要素をもとに、診断を下し、治療を進めていきます。その際の判断の「物差し」となるのが「証」といわれるものです。

- ◆「虚」とは空虚という意味で、「実」とは充実を表します。対立するこの2つの証は、その人の「体力の質的な充実の度合い」を示す物差しであり、特に慢性病の診断ではこの判定が重要になります。

【実証タイプの特徴】

がっちりした体格で、筋肉が発達しています。顔色は光沢と潤いがあり、血色もよく、首は太くて短いのが特徴です。髪の毛にも光沢とつやがあり、目は生き生きとして力が感じられます。虚証の人と比較すると元気いっぱい、日ごろから実に活動的です。

【虚証タイプの特徴】

やせていて軟弱な印象を与えます。顔色はどちらかというとき青白く、皮膚は乾燥しています。首は細く長く見え、髪の毛には光沢とつやがなく、目には力がなくうつろな感じがします。病気に対する抵抗力が低下し、何をしても疲れやすく、すぐに下痢をしまし、汗をかきやすいという特徴があります。

- ◆こうして見てくると、虚証の人は不健康で、実証の人は健康であると思われるかもしれませんが、実証であれば健康かということ、必ずしもそうとはいえません。例えば、実証の人は血圧が高い傾向にあり、脳血管障害のリスクが高いことを意味します。また、食欲が旺盛のため、肥満気味になり生活習慣病を招きがちです。

●実証には『瀉』、虚証には『補』の治療

中医鍼灸治療では、実証の人に対しては、「あり余ったものを取り去る」という方針で『瀉』の治療を行い、虚証の人に対しては、「体内で不足しているものを補う」という『補』の治療を行います。また、エネルギーを補充する効果のあるツボや、冷えを取り去る効果のあるツボなどを随時使い分けて治療を行うので、体の中から根本的な治療を行うことができるのです。